

愛知・名古屋 2026 アジアパラゲームズ
競泳競技日本代表推薦選手選考独自基準について

（一社）日本知的障害者水泳連盟

（一社）日本知的障害者水泳連盟及び（一社）日本パラ水泳連盟の統一基準に加えて、当連盟の独自基準は次のとおりである

I. 推薦独自基準

1. 表記大会はロス 2028、ブリスベン 2032 など今後のパラリンピックを見据え、次世代を担う若手選手の育成機会を兼ねる。
2. 2026年5月開催予定の『WPS ワールドシリーズ富士・静岡（以下「選考会」という）』の記録を基に、愛知・名古屋 2026 アジアパラゲームズ競泳競技日本代表推薦候補選手を選考する。
なお、予選・決勝にかかわらず、それぞれの選手の各種目最速記録を採用する。
3. 選考は種目ごととし、連盟が設定した派遣基準を突破した選手を対象とする。

II. 選考と基準記録

1. 第1次選考について

- （1）選考会において派遣 A 基準記録を突破した選手を、推薦候補選手として選考する。
- （2）派遣 A 基準記録は以下のとおりとする。

Events	Male	Female
200mFreestyle	2:00.40	2:18.59
100mBackstroke	1:02.93	1:13.65
100mBreaststroke	1:11.68	1:20.55
100mButterfly	58.99	1:10.99
200mIndividual Medley	2:18.00	2:37.46

2. 第2次選考について

- （1）21歳以下で（2026年3月31日現在）、選考会において次世代派遣基準記録を突破した選手を、推薦候補選手として選考する。
- （2）次世代派遣基準記録は以下のとおりとする。

Events	Male	Female
200mFreestyle	2:01.13	2:22.31
100mBackstroke	1:04.09	1:17.85
100mBreaststroke	1:12.49	1:25.92
100mButterfly	59.08	1:12.64
200mIndividual Medley	2:19.22	2:41.55

3. 優先順位について

- (1) II.1.(1) および II.2.(1) で推薦候補となった選手に優先順位をつける。
- (a) まず、第1次選考にて選考された選手に優先順位をつける。優先順位は派遣 A 基準記録に対する到達率とする。
- (b) その後、II.3.(a) に続く優先順位を、第2次選考にて選考された選手につける。優先順位は次世代派遣基準記録に対する到達率とする。
- (c) II.3.(a) および (b) の選手それぞれの中で同順位であった場合、2種目目以降の到達率が高い選手から順位づけをする。
- (2) 優先順位の上位から、JPCより競泳競技に割り当てられた参加枠(注1)の範囲内を、推薦選手とする。
- (注1) 2026年2月20日現在、参加枠が公表されていないため、公表され次第両連盟HPで公表する。

例) 到達率

男子 200m 自由形 2:02.05 は派遣基準 A に対する到達率は以下のとおり算出する。

$$(120.40 \div 122.05) \times 100 = 98.648 \rightarrow 98.648\%$$

例) 優先順位について

第1次選考にて選考された選手が5名いた場合は、優先順位1～5位をつける。

その後、第2次選考にて選考された選手に、優先順位を6位～つける。

III. 補欠選手について

補欠選考は実施しない。

IV. リレー選考について

1. リレー種目のみの選考は実施しない。
2. リレーメンバーは、2026年5月31日開催予定の愛知・名古屋2026アジアパラ競泳競技日本代表選手選考委員会にて決定した推薦選手の中から選考する。
3. 選考には、選考会(予選・決勝)および2026年6月14日開催予定の第29回日本知的障害者選手権水泳競技大会の100m自由形における各選手の記録の早い方を採用する。
4. 選考は、IV.3の男女各上位3名とし、男女各上位2名を正式メンバーとする。

以上